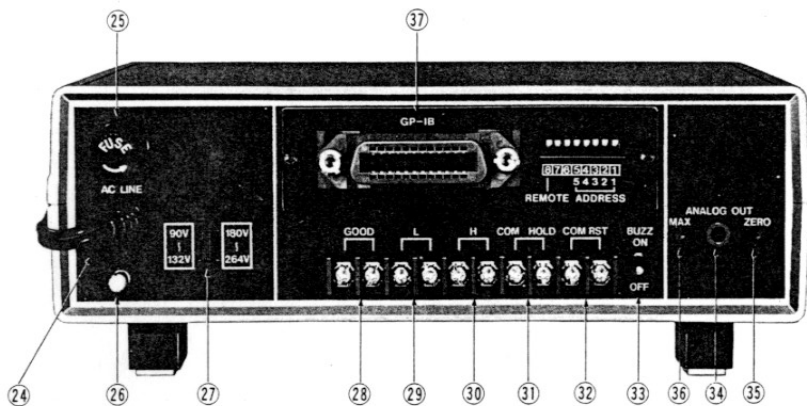
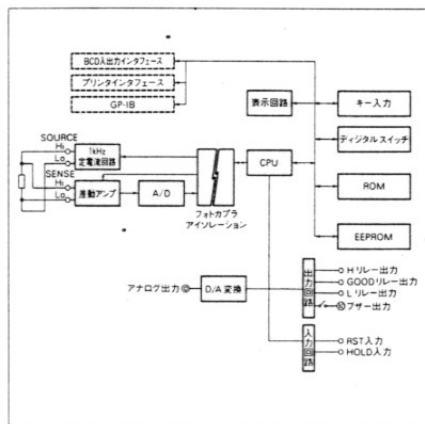


2-2 ●裏面パネルの説明



- ②④電源コード
- ②⑤ヒューズホルダ
ミニヒューズを使用します。(AC90~132Vで使用时0.5A、AC180~264Vで使用时0.25A)
- ②⑥アース端子
接地端子です。
- ②⑦電源切替スイッチ
スイッチの切り替えによりAC90~132VまたはAC180~264Vで使用できます。
- ②⑧良判定接点出力 (GOOD)
表示値が良のとき接点(1a)がONします。
- ②⑨下限判定接点出力 (L)
表示値が下限設定以下のとき接点(1a)がONします。
- ③⑩上限判定接点出力 (H)
表示値が上限設定以上のとき接点(1a)がONします。
- ③⑪ホールド入力端子 (COM-HOLD)
HOLD端子とCOM端子を短絡すると、表示値、測定レンジおよび判定結果を保持します。
- ③⑫リセット入力端子 (COM-RST)
RST端子とCOM端子を短絡すると、判定結果が復帰します。
- ③⑬ブザースイッチ (BUZZ)
スイッチをOFFにするとブザーを消音できます。
- ③⑭アナログ出力端子 (ANALOG OUT)
測定値に比例した直流電圧を出力します。
- ③⑮アナログ出力ゼロ調整ポリウム (ZERO)
アナログ出力のゼロ調整ポリウムです。
- ③⑯アナログ出力マックス調整ポリウム (MAX)
アナログ出力のマックス値を調整するポリウムです。
- ③⑰インタフェース部
オプションのGP-IB、プリンタインタフェース、BCDインタフェース基板の装着部です。
(写真はGP-IB基板付です)

■ブロック図



3. 操作方法

3-1 ●電源

本体電源スイッチがOFFになっていることを確認後、電源プラグをコンセントに接続し電源スイッチをONにしてください。本体はただちに動作状態になりますが30分以上の子熱時間をとってください。

本器は、パラメータの保持機能を装備していますので、電源OFF時の測定機能、レンジ、定数などを記憶しています。

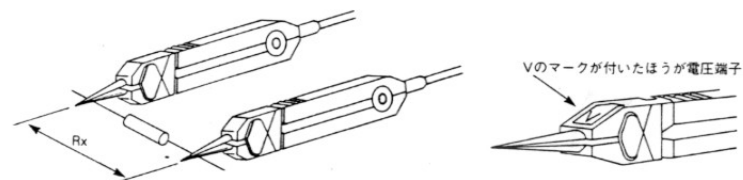
電源スイッチをONにすると、電源OFF時の測定状態となります。

3-2 ●測定リードの接続

入力コネクタに測定リードのプラグを接続します。

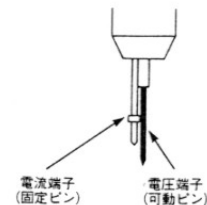
3-2-1 クリップ形リード (5803-22) : 標準付属品

リレー、抵抗などリードのある物の両端をクリップして測定します。



3-2-2 ピン形リード (5803-23) : 別売品

プリント基板のパターン間や電池などリードの出ている物の両側に押しあてて測定します。(可動ピンが電圧側です)



測定上の注意事項

1. DC電圧を重畳させる場合

- 1-1 印加電圧はDC50V以下としてください。
この時、応答速度が遅くなる場合があります。
- 1-2 測定後は本体内のコンデンサに電圧がチャージされていますので、数秒間プローブを短絡し、放電させてください。
短絡しない場合、測定端子電圧が20mVを超える場合があります。

2. その他

- 2-1 インダクタンス、キャパシタンスを有する測定物を測定する場合は、大きな誤差を生ずることがあります。
- 2-2 ノイズ源 (高周波炉、ノイズのある電源ラインなど) の近くで使用するとノイズの影響で正確な測定ができないことがあります。このような場所を避けるか、ノイズ源から充分遠ざけて測定してください。

